

はたちの門出華やかに

成人の日の一月十五日、町では中央公民館で成人式が行われました。昨年より七人多い四百六十八人が新成人を迎え、うち三百五十三人が式典に参加しました。式典では桜井町長が式辞、小松崎町議会議員、桜井県議会議員、滝田教育委員、長が、次々とお祝いの言葉を述べました。当日は風も静かな平年並みの陽気で、はたちの門出にふさわしい好天に恵まれました。会場は真新しいスーツや華やかな晴れ着姿の新成人であふれ、大人の自覚と責任の重さをかみしめていました。



自然と調和し便利で快適なまちを



平成五年八月中旬に実施しました「まちづくりアンケート調査」についての集計結果がまとまりました。

この調査は、二十一世紀を展望したまちづくりについてみなさんの卒直なご意見、考え方をお聞きするため行ったものですが、多くのみなさんから貴重なご意見、ご提言をいただきました。

調査結果につきましては、現在策定中の八郷町総合計画、並びに都市計画に反映させていくため分析を進めているところです。このほどまとまりました集計結果の概要をお知らせいたします。

なお、図1から13は、すべて回答された方の割合(%)を示しています。

アンケート回収率は70・6%

「まちづくりアンケート調査」

は、町の将来像、望ましい土地利用、産業の振興など二十項目について、町内にお住まいの方の中から二十歳以上の男女六千六百七十四人を対象に実施いたしました。そして、そのうち四千七百五十八人(七〇・六%)のかたがたから回答をお寄せいただきました。

回答者の方を性別で見ますと、男性五二・五%、女性四七・五%とやや男性の比率が高いもの、二千人を超える女性のかたがた(町女性人口の約一五%)から回答が寄せられました。

また、年齢別では、まちの将来

を担う青年層からも多くの回答が得られたのが今回の調査の大きな特徴となっています。職業別では、会社員をはじめ農林業、主婦、自営業など、いろいろな職業のみなさんから回答をいただきました。年齢別、職業別の回答者数は次のとおりです。

〔年齢別〕

二十～二十九歳 六百四十人

(二二・六%)

三十～三十九歳 一千五十九人

(二二・五%)

四十～四十九歳 一千七十八人

(二二・九%)

五十～五十九歳 八百五十四人

(一八・一%)
六十～六十四歳 三百九十四人

(八・四%)
六十五歳以上 五百二十六人

(一一・二%)
無回答 百六十四人(三・三%)

〔職業別〕

農林業 六百五十三人(二二・八%)

自営業 五百七十二人(二二・一%)

会社員 一千三百七十七人(二九・二%)

公務員 三百九十九人(八・五%)

学生 四十七人(一・〇%)

パート等 二百九十人(六・二%)
主婦 六百三十六人(二二・五%)
その他四百九十九人(二〇・六%)

無回答 二百四十二人(五・一%)

○まちづくりアンケート結果

八郷町の住みごこちに満足

調査では、まず、まちの住みごこちについてお聞きしました。

図1でみられるように、「非常に住みよい」「まあ住みよい」と回答された方は、合計で約四五%を占めています。

「普通」と回答された方と合わせると約八五%の町民の方々は、まちの住みごこちについて概ね満足していることが伺われます。

一方、約一六%の回答者が、「住みにくい」と回答しています。また、二十～二十九歳の年齢層人口(図3)では、「住みよい側」が約三八%と少なくなる一方、「や

や住みにくい」が約三%と若干「住みにくい側」の回答が多くなっています。

同様に、三十～三十九歳の階層においても、「やや住みにくい」が約一五%と若干ではありますが多くなっています。

「住みよい」と回答されている方を地区別にみると、柿岡地区の住民が四九%と最も多く、続いて小幡地区四八%、林地区四八%、葦穂と恋瀬地区四四%となっています。

図2の定住したい理由については、「自分の家がある」が約六九

%と最も多く、次いで「愛着がある」が約四八%、「自然が豊富」が三四%となっています。このほかの定住理由としては、「人間関係がよい」「通勤、仕事の便がよい」「教育環境がよい」などがあげられますが、いずれも回答比率は五%未満となっています。

若者が住みたい環境づくりが課題

また、住みごこちに関しては若年層と高齢者層とに回答比率の相違はほとんどみられません。自分の家、まわりの環境に愛着、または一定の満足感があり、

豊かな自然環境に囲まれた生活に住みごこちのよさを感じていると思われま

図4の定住意向でも、「住み続けたい」と回答された方が約七〇%、また、「当分住み続けたい」が約一三%となっています。なんと回答者の七割のみなさんが、定住を希望しているということになります。

しかしながら、この定住意向は高齢者に高く、若年者に行くほど低くなっています。特に、二十

二十九歳の回答者に関しては、定住意向が約五五%と低くなっています。

反面「定住したくない」に関しては、二十歳代で約一五%あり、他の年齢層と比較して圧倒的に高い結果となっています。これらのまちを担う若い世代が「やや住みにくい」「定住したくない」傾向を示しており、後継者対策と合わせて若者の定住意欲を高める環境づくりが、今日のまちづくりの重要な課題となっています。

図1 住みごこち

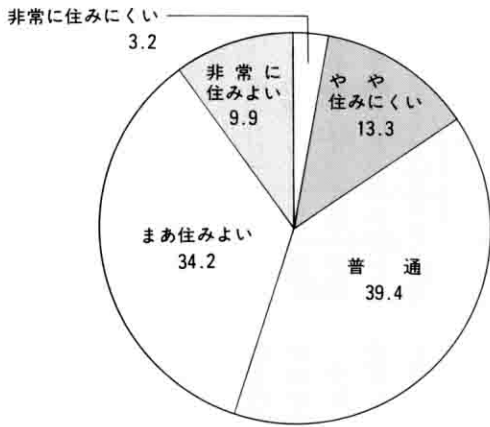


図2 定住したい理由

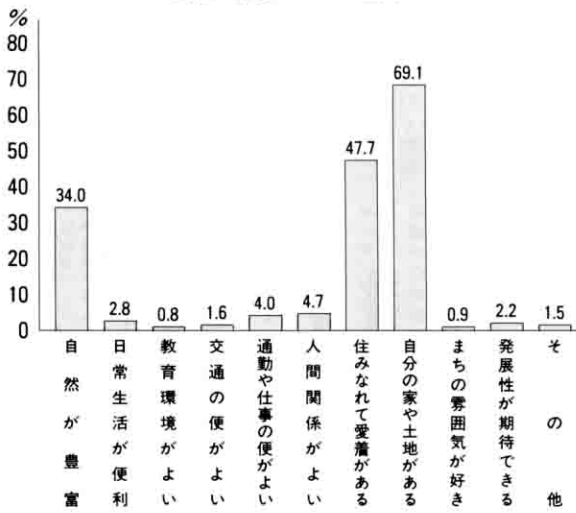


図3 年齢別住みごこち度(%)

20~29	5.9	32.9	33.6	22.7	4.9
30~39	6.8	36.7	37.3	15.6	3.6
40~49	10.0	38.7	34.8	13.3	3.2
50~59	10.9	32.6	44.2	9.8	2.5
60~64	12.8	30.8	48.2	5.4	2.8
65歳以上	16.8	27.0	46.1	8.7	1.4
合計	9.9	34.2	39.4	13.3	3.2

□住みよい □まあ住みよい □普通 □やや住みにくい □住みにくい

図4 年齢別定住意向(%)

20~29	37.3	17.6	30.0	12.9	2.2
30~39	61.6	16.7	13.1	7.5	1.1
40~49	72.5	13.5	7.8	5.7	0.5
50~59	79.2	11.5	4.3	4.7	0.3
60~64	86.5	8.1	2.9	2.3	0.2
65歳以上	87.1	5.5	4.4	2.8	0.2
合計	69.1	13.1	10.7	6.3	0.8

□住み続けたい □当分住む □どちらともいえない □できれば他に □ぜひ移る

暮らしに不可欠、豊かな自然

次に、みなさんのまわりの生活環境について、具体的な部門でどの程度満足しているのかをお聞きしました。(図5・6)

自然の豊かさについては、ほぼ全員が満足しており、八郷の自然がまちの暮らしにとって、かけがえのないものになっていることを示唆しています。

しかし、道路の整備状況に関しては、五割〜六割強の方々が不

満を示しており、また、通勤通学の便、及び日常の買い物の便、雨水・下水の処理など日常生活に密着した部門について、半数以上のかたが不満を持っています。

文化・教育の分野では、施設の充実・文化活動の機会など、全体として「普通」が多数を占め、教育文化環境へのニーズが思ったほど具体的には表われてはいません。保健・医療では、病院・医院の

図5 満足度(1)(%)

自然の豊かさ	40.1	33.7	23.2	1.8	1.2
道路の幅員	7.3	27.9	35.1	27.7	2.0
道路の舗装	11.2	33.6	29.2	23.5	2.5
通勤通学の便	3.9	9.3	37.7	23.1	26.0
下水の処理	4.3	30.6	27.6	34.9	2.6
日常の買物の便	10.0	40.5	26.8	19.7	3.0

□満足 □まあ満足 □普通 □やや不満 □不満

図6 満足度(2)(%)

教育施設充実	8.4	55.9	21.5	12.2	2.0
文化活動機会	5.5	59.1	22.0	11.9	1.5
病院等の多さ	4.3	30.7	33.6	29.7	1.7
保健体制	5.3	53.8	25.6	13.5	1.8

□満足 □まあ満足 □普通 □やや不満 □不満

数についての不満は極めて高く、六割をこえるかたが不満とされています。保健サービスについても、四割のかたが不満を示しており、特に会社員、公務員、学生からの不満の声が目立っています。

図7では、基本的には農業を振興するが、まちの発展のためには他の産業へウエイトを高めるべきといった意見が多く三六・七%、住宅や工場への転用といった意見も一八・三%あります。また、将来の農業経営（農業従事者のみ）の回答、図8)については、約半数が「現状維持」と考えており、「規模縮小」一五・八

「後継者がいないのでやめざるを得ない」と考えているのは六十歳以上も多く、二十歳代では「わからない」との回答が三割以上を占めています。この結果を見ると、現状を維持していきたいが、将来への不安から農業から転換を図らざるを得ないと考えている農家の現状が浮きぼりになっています。

“農業から転換図る” 現状浮きぼりに!!

活力あるまちづくりを進めるうえで、大きな柱となる産業の振興

図7 農業の将来のあり方

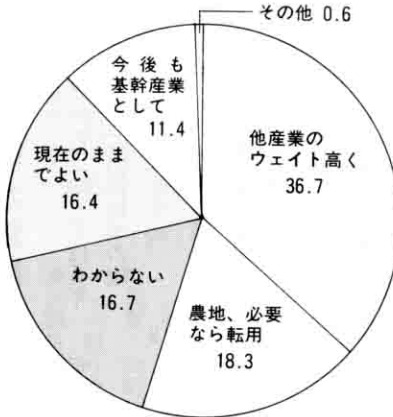


図8 今後の農業経営

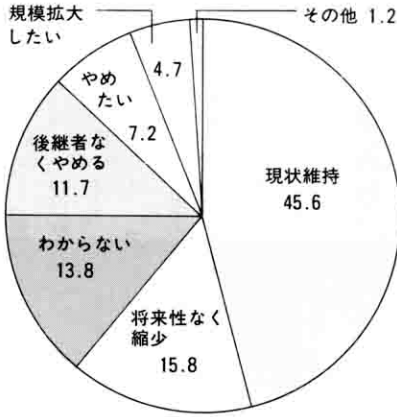
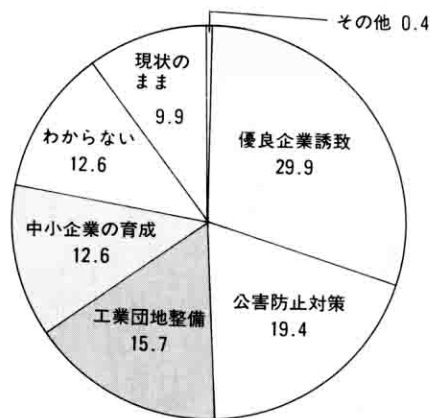


図9 工業の振興方策



模縮小」一五・八%、「後継者がいないのでやめざるを得ない」が一・七%となっていました。

図表にはありませんが、これを年齢別にみると、「後継者がいないのでやめざるを得ない」と考えているのは六十歳以上も多く、二十歳代では「わからない」との回答が三割以上を占めています。この結果を見ると、現状を維持していきたいが、将来への不安から農業から転換を図らざるを得ないと考えている農家の現状が浮きぼりになっています。

並んでスーパー・大型店の誘致への期待が大きく、一か所で品物が揃うワンストップショッピングへの期待が高まっていることが特徴となっています。

まちづくりアンケート結果

快適で暮らしやすいまちに

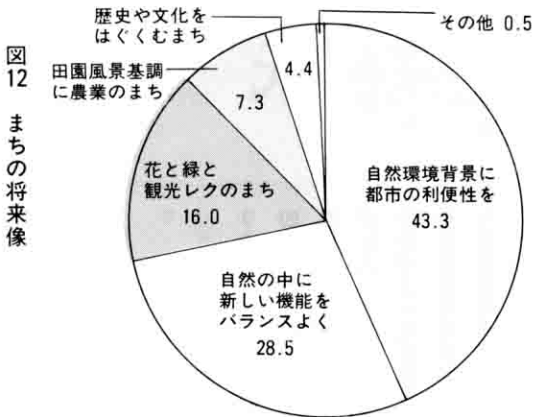
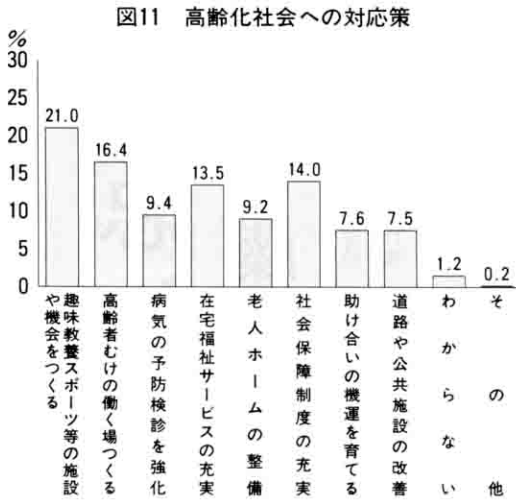
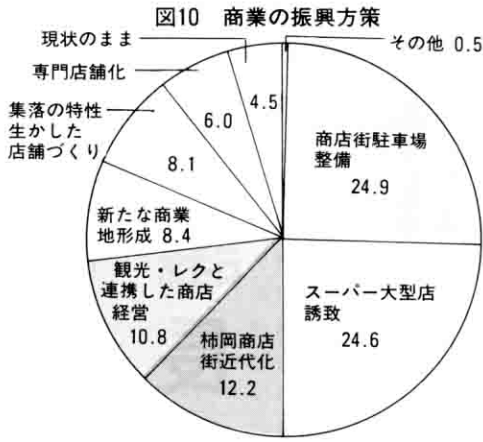


図13 地区別将来像 (%)

地区	自然環境背景に都市の利便性を	自然の中に新しい機能をバランスよく	花と緑と観光レクのまち	歴史や文化をはぐくむまち	田園風景基調に農業のまち	その他
柿岡地区	46.1	28.5	14.2	6.1	4.5	0.6
小幡地区	37.8	25.9	24.6	6.8	4.0	0.9
葦穂地区	39.3	26.9	22.1	7.8	3.9	0.0
恋瀬地区	38.5	33.5	15.2	9.0	3.2	0.6
瓦会地区	43.8	29.4	11.9	7.2	7.5	0.2
園部地区	45.5	30.6	11.0	8.0	4.0	0.9
林地区	45.2	30.5	12.0	7.7	4.3	0.3
小桜地区	46.4	20.9	21.9	6.4	4.4	0.0
合計	43.3	28.5	16.1	7.3	4.4	0.4

□ 住みよいまち □ バランスよい ■ 観光・レク □ 農業のまち □ 歴史や文化 □ その他

健康で生きがいのある高齢化社会の実現に最も期待の高いもの(図11)は、高齢者が気軽に参加できる「趣味・教養・スポーツ等を通じた社会参加の場、機会」が上げられています。次いで「働く場をつくる」こと。特に、まだ働きがりの五十歳代にこの意見が多く表れています。また、いずれ親の介護をしていく三十〜四十歳代に在宅福祉を求める声が多く、男女別では介護負担の大きい女性の間でこうしたサービスの充実を求める傾向が強く表れています。

最後に、将来のまちのイメージ(図12)についてお聞きしました。イメージとしては、「豊かな緑の自然を背景として、都市の利便性を備えた住みよいまち」が最も多

く四三・三%、次いで「自然や田園の中に工業団地や住宅団地など、新しい機能がバランスよく配置されたまち」が二八・五%、「フワーパーク、観光果樹園と筑波山などをネットワーキング化した花と緑のレクリエーションのまち」が一六・一%と続いています。

平成元年に実施した「八郷町の将来について」というアンケート調査では、「自然に恵まれたまち」という答えが最も多くありました。変化により、恵まれた自然を守りつつ道路や下水道、公園などの生活環境が整った暮らしやすいまち

を望むように、意識が変化してきていることがわかります。

地区別にみると、柿岡地区は「自然環境を背景に都市の利便性を」が最も多く、町の中心機能を持つ市街地として、大半の人が都市的な住環境が整備されたまちをイメージしています。恋瀬・園部・林地区は、「自然や田園の中に新しい機能がバランスよく」という傾向が他地区よりやや強く、小幡・葦穂・小桜地区では、花と緑の観光レクリエーション機能を期待する意見が比較的多いなど、地域によって特徴が別れています。

21世紀にむけた新たなまちづくり

町をとりまく環境は、常磐新線、首都圏中央連絡自動車道、北関東自動車道などの大型プロジェクトが具体化しつつある中で急速な変貌を遂げようとしています。

また、私たちがとりまく生活環境も、ゆとりややすらぎを求める生活スタイルの変化や、人口の高齢化の進行など大きく変化してきています。

こうした中で、八郷町は平成四年九月の都市計画区域指定により、「自然と都市的な利便性を備えた活力あるまちづくり」へ新たな第一歩を踏み出しました。

新たな課題に的確に対応しながら、「八郷らしい、八郷ならではのまちづくりをこれか

らみなさんとともに創り上げたいと考えております。

町ではみなさんからいただいた貴重なご意見、ご提言を活かし、二十一世紀という新しい時代に向けたまちづくりに積極的に取り組んでいきます。

「緑の多い、快適なまちづくり」に向け、今後もいろいろな機会をととめて町民のみなさんのお力添えをお願いいたします。

アンケートにご協力ありがとうございました。

新議長に関忠治氏

副議長に伊藤昌次郎氏

平成6年第1回臨時議会が1月21日開かれました。議会では、議長、副議長、常任委員、議会運営委員などの改選が行われました。

また、常任委員、議会運営委員の構成は、次のとおり改められました。(◎は委員長、○は副委員長、敬称略)

〔総務委員会〕

◎矢口喜七 ○塚谷和幸 嶋田佐登子 吉川勇 島田重郎 関忠治 山田保

〔教育民生委員会〕

◎鬼沢隆 ○大場俊之 入江貞一 伊藤昌次郎 小松崎長太

〔産業土木委員会〕

◎鈴木光雄 ○鈴木米造 岡崎勝巳 川又紀征 中村茂夫 上田孝之 川井伸夫

〔議会運営委員会〕

関新議長は就任にあたり「議員のみなさんの推せんにより議長の要職をお引き受けすることになり、責任の重さを痛感しています。議会を進めるにあたっては議員のみなさんと十分話し合って円滑化をはかっていきたい。町民のかたがたに信頼される議会運営をめざします」と抱負を語っていました。



関 議長



伊藤 副議長

◎山田保 ○入江貞一 鬼沢隆

鈴木光雄 上田孝之 吉川勇 矢口喜七 小松崎長太

上程された議案は、平成5年度一般会計補正予算1件で、原案どおり可決されました。同補正予算は、歳入歳出それぞれ1億889万円を追加し、予算総額90億7、169万1千円としたものです。

歳入は冷害地域緊急対策事業補助金などの県支出金が1億547万7千円、過年度分災害復旧費の国庫支出金が2、581万9千円、柿岡中学校火災保険金の雑入が1、344万9千円それぞれ補正増となり財政調整基金繰入金3、585万5千円補正減となりました。

歳出は冷害地域緊急整備対策事業補助金が6、354万2千円、先進的農業生産総合推進対策事業補助金が5、038万円、公共土木施設災害復旧費が300万円それぞれ補正増となり、水田営農活性化事業費が844万5千円補正減となりました。

町長の日記帳から



一月の主な動向はつぎのとおりです。

懸案事項を知事に陳情

桜井盾夫

四日(火)御用始、職員新年会

五日(水)十三塚柿組合二箱品評会

六日(木)土木関係事業出県陳情

七日(金)老人大学開校式

九日(日)軍恩恋瀬支部新年会

十日(月)消防出初式

十二日(水)善光寺楼門修理委員会

十三日(木)職員採用試験面接、日立製作所消防出初式

十四日(金)優良農業後継者表彰式

十五日(土)成人式

十七日(月)補正予算査定、婦人会

十八日(火)民生委員協議会、石岡

地方農業共済組合協議会協議会

十九日(火)総合計画審議会

二十一日(金)議会第一回臨時議会

二十四日(月)石岡台地土地改良事業推進協議会

二十六日(水)土地改良区合併協議会、国有林野所在市町村協議会

二十七日(木)産業文化事業団理事

会

三十一日(月)霞ヶ浦用水負担金軽減出県陳情

年明け早々の一月六日、橋本県知事をはじめ県機関への陳情に、建設課長、同課長補佐をもなつて行きました。

恋瀬川の河川改修、朝日峠、上曾峠のトンネル化、県畜産試験場誘致にとまなうアクセス道路の整備など、町の懸案事項の早期実現をお願いしてきました。

知事は当日、会議中にもかかわらず、私どもの陳情のため時間を割いていただき、十分な話し合いをすることができました。

とりわけ、恋瀬川の河川改修は、片野や金指のかたがたの水害に対する恐怖心を取り除くもので、急を要する課題です。粘り強く上部機関への陳情を重ねて、一日も早い不安解消にまい進したいと思えます。また、朝日峠、上曾峠のトンネル化や畜産試験場周辺の道路整備は、町の発展にとって欠かせないものであり、なんとでもクリアしなければならぬ問題です。

転作目標面積は420ヘクタール

農家の皆さんには、歴史的な大凶作にもかかわらず、水田営農活性化対策事業に深い理解とご協力を賜り、平成五年度も転作目標面積を達成することができました。お陰様で農林業関係の補助事業を

円滑に推進することができましたこと、心からお礼申し上げます。六年度の配分面積は、備蓄米確保のため、昨年より三十七ヘクタール少ない四百二十ヘクタールが配分されました。

それぞれの農家への単年度の配分は、水田面積の二〇パーセントで配分し、農事実行組合長さんに計画書のとりまとめをお願いしているところであります。米の部分開放の決定という異常事態の中で、転作をお願いするとは、誠に心苦しい次第でありますが、一方余剰米対策という事情もご理解されまして、転作達成にご協力いただきましたこと存じます。

転作等助成金の概要

1. 転作助成金 (10aあたり) 単位：円

作目等	麦、大豆、そば、飼料青刈、花き、果樹等	野菜、イチゴ、たばこ等	林地、養魚池、鉄骨ハウス、休耕田等
① 一般的助成金	国補助金 7,000	4,000	4,000
	町補助金 5,000	5,000	5,000
② 団地加算金 原則3ha以上	国補助金 20,000	5,000	—
	町補助金 20,000	20,000	—
③ 特認加算金 集落内休耕30%未満	国補助金 10,000	5,000	—
	町補助金 —	—	—
④ 産地形成加算金 (イチゴ)	国補助金 —	5,000	—
	町補助金 —	—	—
⑤ 恒久的転換に対する加算金	国補助金 20,000 (果樹園、転換畑)	20,000 (転換畑)	20,000 (休耕田は除く)
	町補助金 10,000~15,000 (達成率により加算)		
⑥ 集落達成加算金	町補助金 10,000~15,000 (達成率により加算)		
合計	12,000~67,000	9,000~54,000	9,000~35,000

- 転作等助成金の交付年限
 - 果樹園及び転換畑は植栽又は転換の年から4年間です。
 - 休耕田は3年間です。
 - 林地、養魚池、鉄骨ハウス等は最初の1年のみです。
- ②~⑥までの加算金は達成集落のみです。
- ②~⑤の国補助金は、最も有利な加算金1つしか該当しません。

2. 他用途米の政府買入価格及び助成金(1袋あたり) 単位：円

区分	種別	政府買入価格(予定)	町助成金	合計
達成集落		4,430~4,880	2,000~2,333	6,430~7,213
未達成集落		同上	1,333	5,763~6,213

- 政府買入価格は現在検討中であり、又等級により違います。
 - 町助成金は集落の達成率によって違います。
 - 他用途利用米は、15袋出荷で10アール転作として取り扱われます。
- ◎できるだけ有利な転作の推進と、農林事業関係の集落説明会を行っておりますので、希望される集落は役場農政課までご連絡ください。

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

フラワーフェア

3000株の草花で創作展示

フラワーパークでは、三月十三日から二十一日まで展示即売温室を中心に「フラワーフェア」を開催いたします。

主な催し物として、十三日から二十日までは、春の到来を告げる草花、プリムラ類、ラナンキュラス、デモルホセカなど二千株以上を使った創作展示を行います。皆さんに観賞していただき、皆さんに観賞していただきます。なお、展示品は、二十一日午後一時三十分からオークションにて即売します。

また期間中、平日は先着百名様に日・祝日は先着二百名様にガラスオラスの球根をプレゼントいたします。

トいたします。

主・日・祝日は、一回五十円で球根のつかみ取りを、また、十三日の日曜日には午後一時三十分から春植え球根の園芸教室も開催いたします。

そのほか、二十日、日曜日にはバラの花などを使った「卓上花」の作り方についてのフラワーデザイン教室を、午前十一時から午後二時の二回行いますので、ぜひご参加ください。

なお、三月から開園時間が、午前九時から午後五時(入園は午後四時三十分まで)となります。



ぼくが五年生のとき、いとこと

いっしょに土浦の映画館に行った

日のことだ。その日は両親が用事

で出かけるというので、ぼくたち

は電車に乗って行った。ぼくは、

小さいときから、母が車の運転を

するようにするまでは、いつも自

転車が電車で出かけなければなら

なかった。電車はいつもこんでい

てなかなかすわれなかった。だが、

必ずと言っていいほど、「坊や、

すわるかい」と、声をかけてくれ

る人がいた。そのおかげでぼくは

いつもすわることができた。そし

て、すわれると、「もうこの席は誰

にも渡さないぞ」という気持ちで

最優秀賞

電車の中で一つの決心

林小学校六年 本田 勝通



降りるまで絶対に席を立たなかつた。学校に入ってからずっとそ

うだった。だが、このときだけは

ちがっていた。いとこと切符を買

って電車に乗ると、いつもの通り

満員だった。まずは、手すりにつ

かまりゆるるままに体をあずけた。

次の駅に着いたとき、十人ぐら

いの人があどドツと流れこんできた。

その中に一人だけおぼあさんが

交じっていた。見ると、近くの

人がみんな目をそらしている。そ

んな人たちの中に一人、「こ、こ、

どうぞ」と、席をゆずるお兄さん

の姿がぼくの目に飛びこんできた。

ぼくはびっくりした。道德の本や

テレビではよく見るが、実際にこ

んな光景を見るのは初めてだった

からだ。

次の駅に着くと、かなりの人が

降りた。ぼくもいとも「や」と

すわれた」という思いで腰をおろ

した。しかし、それもつかの間、

大勢の人がドドツと乗って来てた

ちまち満員になってしまった。見

ると、おじいさんがたくさん。ほ

くは、すかさず、「おじいさん、

どうぞ」と声をかけ席をゆずろう

とした。すると、「わしは、まだ、

おじいさんじゃないぞ」という声

とともに、おこったような顔がほ

くをにらんだ。いとこも、「おめ

え、ばかじゃねえの。じいさんや

ばあさんに席を空けて自分が立つ

ててどうすんだよ」とばかりした

ように言った。「喜んでもらえる

とばかり思って声をかけたけどお

じいさんには大きなお世話だった

のかな、席をゆずるのって思っ

いたよりも難しいんだな」ぼくは

立ちかけたこしをゆっくりもどす

と、しばらくの間顔をあげるこ

がでなかつた。

次の駅では一人、つえをついた

おぼあちゃんに乗って来た。それ

を見るやぼくの心の中では「知ら

んぷりしていようかな」「席を空

けてあげようかな」という二つの

気持ちが激しく戦い始めていた。

そして、ついに決着がつくと「お

ぼあちゃん、どうぞ」と声をかけ

席を立った。席にすわるおぼあ

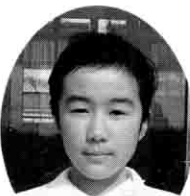
ちゃんのうれしそうなお顔。ぼくは

ほっとした。

優秀賞

「おはよう」は「ヤンラー」

園部小学校五年 藤井 まり恵



「おはようございます」今朝も、

リオスおにちゃんの元気な声が

ひびいてきます。リオスおにち

ゃんは、遠い南の島、フィジーか

ら来た研修生です。私の家で、今

年の五月から一年間の予定で、養

豚の勉強をしています。二月に日

本に来て、研修センターで三か月

間日本語を勉強したただけなのに、

日本語がとても上手です。声だけ

聞くと、まるで日本人が話してい

るようです。

リオスおにちゃんは、家の人

だけでなく近所の人たちにも進ん

であいさつをします。近所のおぼ

あちゃんは、「外国の人なのにあ

いさつがよくできてえらいねえ。

礼儀正しい人なんだねえ」と、リ

オスおにちゃんのことをほめて

いるそうです。何だか、私もほめ

られたようで、うれしくなってし

まいます。

フィジーでは、近所の人ほもち

ろん、知らない人にもあいさつを

するそうです。だから日本に来て

も、同じようにあいさつをしてい

るだけなんだそうです。

私はこの話を聞いてびっくりし

てしまいました。私は、近所の人

や友達、先生など知っている人に

は進んであいさつができますが、

知らない人にはしたことがありま

せん。知らない人にあいさつした

ら笑われそうな気がするからです。

最近、日本では、となり近所で

もあいさつをしなくなってしまう

たそうです。都会では、あいさつ

どころか、となりにどんな人が住

んでいるかさえ知らないというこ

とがあるそうです。とても悲しく

はずかしいことだと思います。あ

いさつは、人と人の心を通わせ

る大切なものだからです。知らな

い人とこそあいさつをしなければ

いけないんだなあということをリ

オスおにちゃんから教えてもら

ったような気がします。

私の学校では、今、転校生がど

んどん増えていきます。二学期にな

ってから、十五人もきました。フ

ィピンからジャン君という外国

人の友達もむかえました。ジャン

君は、日本語が全然わかりません。

でも「おはよう」と「こんにちば

は言えます。ジャン君も、あいさ

つが、知らない人と友達になるた

めに大切なのだとわかつている

から、この言葉をおぼえたのだと

思います。外国の人から、私たち

日本人が「おはよう」と言われた

ら、うれしくなるように、日本人

にその外国の人の国の言葉であ

いさつされたらやっばりうれしいだ

ろうと思います。フィジー語で、

「おはよう」は「ヤンラー」と言

うそうです。リオスおにちゃん

も「ヤンラー」とあいさつされた

ら、やっばりうれしいだろうと思

います。

これからは、外国の人と友達に

なる機会が多くなると思います。

いろいろな国のあいさつの言葉を

おぼえて、知らない人でも進んで

あいさつできる勇気を持ちたいと

思います。

それは、何年前のできことだった。私は友達数人と小学校の校庭で遊んでいた。その日は、みんなが大好きな休日。だから私たちだけではなく、下級生や同級生の生徒も多く見られた。みんな週に一日だけの休みを楽しんでいるようだった。

遊びにつかれが始めた頃、私たちは遊ぶのを一時やめて、近くの店へお菓子を買いに行くことにした。そこで私たちはとても驚かされてしまった。お菓子を買って店の外に出ると、そこにはゴミが散乱していたのだ。それは大変なちらかりようだった。アイスの袋、お菓子の袋にジュースの缶など、

あれは結婚してもまもなくの事ですから、もう十年以上たちます。結婚前は喧嘩をしても気持ちがおさまるまで会わないでいることができますが、結婚すると同じ屋根の下、そうはいきません。はじめ夫婦喧嘩をした翌朝、私は前日の喧嘩の余韻から朝の「おはよう」が口からすんなりでてませんでした。朝食も黙ったまま、夫が仕事に出掛け一人家の中で私は無性に寂しく後悔しました。

とにかく数など数えきれない程のゴミが投げ捨てられていた。私たちは一瞬、あ然としてしまった。「店の人、大変だろうな……」そんな考えがアイスを食べている私の頭を横ぎった。

そういえば、少し前に店のおばさんがこのあたりをそうじしていたのを見た。「それからまだ、少ししかたっていないのに、こんなに散らかってしまったのはなんでだろう。やっぱり一人一人の心がけが足りないのかな」そんなことを考えていると、友達の一人がこんなことを言い出した。「掃除しよっか」やっぱりみんなも、このゴミのことを考えていたんだと



優秀賞

心に残る「ありがとう」

有明中学校二年 石井知子

思うと、なんだか少し偉くなったような気がした。

私達はゴミひろいを始めた。人に見られたら少しはすかしいなと思っただけ、それよりも、この散らかり方に目を向けて欲しいと思う気持ちの方が強く、途中でやめるなんてことは考えなかった。「ゴミ箱に入れればいいのにね」私たちは話しながらゴミひろいを続けた。

その時だ。「ああ、あなたた

ち、えらいねえ。ありがとう」お

店のおばさんがほろきとちりと持ち出てきた。おばさんも、このそうじをしに来たにちがいない。私たちの姿を見つけたおばさんはとてもうれしそうだった。何度も何度も「えらいねえ。ありがとう」を連発していた。私たちが「ありがとう」と言われて、なんだかホッとした感じがした。心があったまる感じである。ああ、やってよかったと思った。それに、



私たちの気持ちと行動は、おばさんの今までの苦勞を少しは小さくできたのかもしれないと思った。あのときのおばさんのうれしそうな顔とありがとうという言葉それに、ちよっぴりよいことをした後のすがすがしい気持ち、今でも私の心の中に残っている。これからも思いやりの心を大切にしながら、もっとも「ありがとう」の言葉をたくさん聞くことができるようにしていきたいと考えている。



優秀賞

「おはよう」の一言で

大增 大沼宏子

して明るい家庭、居心地のよい家庭を目指していたのに早くもこの始末で悲観してしまいました。

この一件があつてから簡単なあいさつがいかに人間関係の潤滑油になつていくか痛感しました。それから私は、どんなに喧嘩した後でも「おはよう」のあいさつはきちんと言おうと心に誓いました。

朝の「おはよう」の一言、その一言ができれば後はすんなりいくもの

です。「昨日はごめんね、いすぎたわ」「いや、俺も言い過ぎた」と、いう具合です。そして、これは喧嘩した後の仲直りのコツでもあるのです。

わが家の第一声は、家族の中で交わすあいさつです。子供は小さい時、(特に二歳前後)何でも真似をします。こちらからあいさつするときちゃんとあいさつが返ってきます。ですから家庭という小さな

子供達と歩いていて通りがかりの人にあいさつすると子供達は、「お母さんの知っている人？」と尋ねます。「ううん、知らない人よ。でもあいさつすると気持ちいいから」「ふーん」一方通行のあいさつでは寂しいですが返つてくると嬉しいものです。

また、私の家のそばは中学生の通学道路になっています。その中学生がよくあいさつをしてくれま

す。おそらく私の名前すら知らないと思うのです。でも、お互い声をかけたりかけられたりしてさわやかな朝を迎えています。これもご家庭やご近所の方の賜物だと思います。わが家の二歳の末っ子も「おはよう」や「バイバイ」を大きな声で言って笑いを誘っています。あいさつのしかた見習い中といったところです。

これからも家庭や地域の皆さんで声をかけあつてきちんとあいさつのできる子に育てていきましょう。そして、明るく、和やかな住みよい社会にしていきたいです。

八郷町の文化財

(19)

恵まれた環境が育てた巨樹

須釜のイトヒバ

町指定 昭和四十七年十一月七日
所在地 八郷町須釜一三六五
須釜の小林医院。母屋の裏山に

町文化財に指定されたイトヒバの巨樹があります。幹の太さが約三・二メートル。樹高は約二十メートルありますが、中途から数本の幹に分かれています。樹齢や伝承は不明ですが、肥沃な栽植地と恵まれた環境、長年の管理がこうした比類のない巨樹を育てたのでしよう。

イトヒバはサワラの一変種で、比翼松葉とも呼ばれ、枝は細く葉は糸状に細長く垂れ下がるため、イトヒバの呼称になったといわれています。

また、イトヒバは日本固有の庭



園樹で、古くから松や梅などと共に庭園を代表する観賞樹として広く用いられて来ました。

千の文字が刻まれ筑波を礼賛

筑波山碑

町指定 昭和四十七年十一月七日
所在地 八郷町小幡 寶蘭寺

筑波山を正面に仰ぎ小幡の小刹真言宗豊山派寶蘭寺があります。その山門左手に町指定文化財「筑波山碑」があります。

碑の高さは約二メートル。横約一・五メートルの御影石の中に縦一・二メートル横八〇センチの青銅板が納められてあります。

青銅板には約千の文字でつづつた漢文が刻まれてあり、「筑波山には奇岩や巨岩あり、川や滝あり、関東有数の名山である」と礼賛してあります。文章の末尾には、



「安永八年己亥夏五月守山藩士 戸崎允明 撰 片野村 綿引秀親 建」と記してあります。

安永八年（一七七九）、今から二百十五年

年前。允明五十五歳。常陸松川（大洗町）に生まれ、十八歳で福島田村郡の守山藩に仕え、後に藩の儒学者となり、号を戸崎淡園と称しました。

伝承によると、允明の名文に感動した片野村の庄屋綿引秀親が、筑波山頂にこの碑を建立しようとしたが、「筑波山そのものが御神体である。碑の建立とは恐れ多い」という意見があり、また筑波山頂までこの碑を運ぶことは困難であるということから、筑波東麓の寶蘭寺に建立されたといわれています。

なお、昭和六十一年四月、朝日新聞マリオン紙仲介の縁で、戸崎允明の第七代目の子孫戸崎敏氏と親族二十二名が寶蘭寺を訪れ、筑波山碑と対面、先祖の偉業に深く感激したとのこと。

最近気になる病気

C型肝炎と

インターフェロン療法

石岡市医師会病院

内科 坂本 勉 医師



現在、日本にはC型肝炎患者およびその予備軍であるウイルスキャリアは、合わせて約二百万人いるといわれています。

C型肝炎は肝炎ウイルスに感染して起こる病気です。病気の経過から発病後六ヶ月以内に肝炎が治る急性肝炎と六ヶ月以上持続する慢性肝炎に分類され、さらに、慢性肝炎は肝炎が軽い「非活動性」と、進行した「活動性」に分類されます。C型肝炎ウイルスに感染した場合、一貫性で治癒する急性肝炎の場合もありませんが、五〇%以上が急性肝炎から慢性肝炎へ移行し、その後二〜三十年かかって肝硬

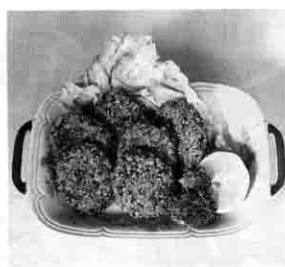
変および肝ガンへと進行します。C型肝炎の治療は、今まではウイルスの排除はできませんでしたが、現在はインターフェロン療法でウイルスそのものを排除することが出来ます。実際にインターフェロンを使用する前に肝生検を行います。肝生検は局所麻酔をして、生検針を穿刺し、肝細胞を採取します。検査の間は十分程度ですが、検査後安静が必要のため通常一日入院となります。肝生検の結果によりインターフェロンを使用する場合、最初の二週間は入院をして連日投与します。その後、週二〜三回を三、六ヶ月続けます。

C型肝炎に対してインターフェロンは効果を示す反面、多彩な副作用があります。代表的な副作用に頭痛、筋肉痛、関節痛、発熱などのインフルエンザ様症状や食欲不振、脱毛などがありますが各症状に対する適切な対策で大部分抑えることができます。

また、気になる治療費ですが、投与期間や種類によって異なり、薬剤価格で九十万円から四百万円位かかりますが、保険診療でするので、高額医療の適用が受けられます。確かに安くありませんが肝硬変や肝ガンになってかかる治療費に比べるとずっと安いと思います。詳しいことは、最寄りの医療施設で相談してください。

レンコンの

納豆入り小判揚げ



食生活改善推進員 飯村きよ（下林）

材料（4人分）

納豆150g レンコン300g もどしたヒジキ
カップ $\frac{3}{4}$ 白ごま大さじ3 かたくり粉大さじ
3 酢・塩・油適量

作り方

- ①レンコンをすりおろし、酢を落として色止めしておきます。
- ②ヒジキはみじん切り、納豆は包丁でたたき、ごまは炒って刻み、ボールで混ぜ合わせ、塩少々で下味をつけます。
- ③②に①のレンコンとカタクリ粉を混ぜ入れ、12等分にして小判型にまとめます。手に油を塗るとべたつきません。
- ④油を170度に熱し、鍋肌からすべらせるように落としてこんがり揚げます。あつあつのところをカラシじょうゆでいただきます。

ニンジンやネギのみじん切りを混ぜ、小麦粉をつけて揚げてもよいでしょう。



おが家GIRL

中戸

大図 真理子ちゃん

父 愛一郎さん 母 美知子さん
平成3年9月18日生まれ（次女）

●家族からの一言

ブランコに乗るのが大好き。お兄ちゃんと遊ぶことが多い、元気な女の子です。

健康で明るく、思いやりのある子に育ってほしいです。

四季ありあり

八郷の歳時記

②



硬くて細い棒に穴をあけ、そこに糸を通して物を縫うというこの歴史は古く、縄文時代の後期にはすでに骨針を用いてつづること、くぐるものが行われていたと言われている。

その後、中国や朝鮮から新しい文化の伝来と共に、衣服の様式や衣服を縫う技術なども伝わった。平安時代から鎌倉・室町時代にかけて、和服の型も定まり、鉄製の針が用いられるようになって、物を縫う裁縫の技術はいっそう進展するにいった。

その技術は母から娘と引き継がれ、いつか女子が身につける修業の一つとなっていく。戦後のある時期までは裁縫に習熟することが嫁入りの必須要件であった。農村の女子の多くは義務

折れた針、豆腐に刺して供養

って住み込みで習う娘たちもいた。

今のように既成のものが氾濫している時代と違って肌着一枚から農作業衣や日常の衣類はいくまでもなく、嫁入り衣装などすべて一本の針で仕上げる時代、日常生活に針仕事は大きな比重を占めていた。

教育が終わると農業に従事し、秋の収穫の終わる「亥の子餅」のころを一つの区切りとし、裁縫所通いを始める。

大きな集落に一件くらの割で裁縫を教える師匠がいてそこへ通った。裁縫のほか行儀作法なども教えられた。

この裁縫所通いをする女子を「お針子」と呼び、中には町の裁縫所へ居付とい

この針仕事に携わる女子の針への感謝の行事が二月八日の「針供養」である。「針祭り」とも「針納め」ともいって一年間の折れたり曲がったりした針や古針を豆腐やこんにやくなどの柔らかなものに刺して、五目飯と共に淡島様に供え、針でケガをしないよう、また、針仕事が上達するようお参りし、

一日針仕事を休んだものである。各裁縫所では針子たちが晴着を着て集まり、前記のような行事を行い、皆で持ち寄ったご馳走などを食べ一日を楽しんだ。

時の流れ、時代の変革と共に女子が各職場に進出し、衣類はすべて工場製品で事足りる今、このような行事は忘れられようとしている。

広報やさど俳句選者 綿引鼓峰

めいなの広場

習字コーナー

評 玄潮会 森 浩亭

恋瀬小二年 鈴木真由美

東成井小五年 藤崎まり

二年 すずきまゆみ

朗読

東成井小五年 藤崎まり

元気があり、すばらしい作品です。

楽しいリズムでやさしい作品です。

私モ ひやいや

よ その自治体の広報紙には、その月のおくやみやおめでたが載っていたりしますが、八郷ではいかがでしょうか。やはりプライバシーの問題などでむずかしいでしょうか。

東成井 佐藤加乃(30)

◆ 広報係のところには毎月他の自治体から広報紙が届き、その中にはおくやみやおめでたを載せている広報紙がいくつもあります。「広報「やさ」とでも載せていけないというきまりはありません。しかし、やはり個人の問題なので、慎重になつてしまいます。もし、住民の方からの「載せてほしい」との希望が多いようでしたら、検討してみたいと思います。

広報係

小 年ふるさと教室」の中で、桜井直美さんが外灯をもっとつけてくださいという質問をしていましたが、私も外灯の件を知りたかったので、理由がわかってよかったです。町で外灯をつけてくれていたわけではなかった



セーラー服
上曾 植竹公与(11)



ラム



スギナ



100%



柿岡 滝本理恵

のですね。以前に私も外灯のことを知りたくて、夫の田舎で見た外灯とスピーカーのことを広報(10月号)に載せていただきましたが、答えがありませんでした。やはり投書しているのですから、広報係からの意見を一言でも載せていただきたかったです。

下林 飯塚恵美子(34)

◆ 答えが載っていないかったのは、こちらの配慮不足でした。申し訳ありませんでした。田舎で外灯とスピーカーが良く整備されているという紹介の文だと思ってしまったので、答えを載せませんでした。その田舎がどこかわかれば、外灯やスピーカーはどこで設置し、なんとという施設なのか、調べられたいかもしれません。今度機会がありま

したら教えてください。外灯は八郷町では区が設置していますが、他の町ではちがう所もあるでしょう。これからも、広報係の勘違いだと思われることがありましたら、遠慮なくご意見をお寄せください。

広報係

◆ みんなの広場に毎月、たくさんの一言やイラストをいただき、ありがとうございます。いつも楽しく拝見させていただきます。ところで、皆さんも存じのとおり、一月二十四日から郵便料金が値上げになり、封書が八十円、ハガキが五十円になりました。郵便物を投函なさるときは、もう一度郵便料金の不足がないかどうか、確認してくださるようお願いいたします。

広報係

フラワーパークの入園券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 71

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①今年の新成人は何人？

- (A) 368人 (B) 450人
(C) 468人

②まちづくりアンケート調査の回
収率は？

- (A) 70.6% (B) 80.6%
(C) 90.6%

③では回答者の職業で一番多かつ
たものは？

- (A) 農林業 (B) 会社員
(C) 自営業

〔応募の方法〕

☆ハガキに広報クイズ71と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入場券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

☆締切日 平成6年3月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡

2009-3 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙4月号

〔広報クイズ69の当選者の発表〕

正解は1-C、2-A、3-Cでした。
応募25通、正解25通の中から次の
10名が当選しました。

山中和(片野) 以後崎喜代(柴内)
桜井妙子(柿岡) 田口幸江(半田)
塚本一城(下青柳) 鈴木聡子(小
山田) 富田静(下青柳) 藤崎まり
(真家) 小原とく(片野) 木村は
る江(上曽) [敬称略]



柿岡 菊地聡子(8)



蔵馬 大・大・大好き



青いフルーツ

●やさと文芸

短歌

吉田次郎選

籠り居の灯影かなしも大寒の満天の星既に定まる

弓弦 萩原 力

緑葉がいつのうちにか紅ないに色変りきぬどうだん躑躅

中戸 吉田とし

子や孫のスキーにゆきて一人居の家ひっそりと賀状読み待つ

月岡 萩原照子

俳句

綿引鼓峰選

冬帽子深々かむり風強し

東山崎 小松みき

木に懸かりたる風見上げいるばかり

青田 田上岳尾

戦友会ありし温泉宿の夜長かな

真家 長谷川雅吾

俚謡

大木嶺月選

あっちこっちと孫の手杖に婆の散歩も亦楽し

東山崎 鈴木君江

険し浮世を生き抜く母が稼ぎ続けた鯨尺

下林 鈴木弦月

今朝は杜氏と祝いを交はし香る新酒が蔵が出る

下林 白田正源



今はめずらしくなった炭焼きの
釜。くろぐろと焼き上がるまでに
五日間かかります。小幡地内で

やさ
と
点
描

「まち」の「話題」で「きごと」と

身近な出来事や地元の問題をおよせください
 (連絡先、秘密保護課 電話 二二二二)

ときめき
 ティータイム



一年の安全を願って出初式

新春の恒例行事である消防出初式が、一月十日、総合運動公園で行われました。厳寒のなか、町消防団・八郷消防署・少年消防クラブ・婦人防火クラブなどから関係者六百名が出席、消防自動車など四十三台が参加しました。式典では、消防団員・署員の人数、服装、機械器具の点検、各表彰、分列行進などが行われ、その後パレードをしながら、片野水田で放水訓練を行いました。

新春の思いを俳句にこめて

やさし俳句会(会長・瀧田玉水さん)
 主催の新年俳句会が一月二十六日、農村高齢者センターで開かれました。この会は毎年開かれているもので、約三十名が出席し、事前に応募された句のなかから優れたものを互選します。今年、次の句が選ばれました。

会長賞 土佐汀風(吉生)
 「継ぐ農に賭ける生甲斐去年今年」
 町長賞 山崎けい子(瓦谷)
 「一振りに夢のせ女傭はじめ」
 議会議長賞 鈴木浦子(瓦谷)
 「句を添えし賀状に心あたたまる」



立志式に清掃で奉仕作業

立志式は昔の「元服の儀」にあたるといわれ、町内の各中学校で一年生を対象に毎年行われています。各中学校とも、それぞれ特色ある催しが企画されました。その中で、園部中学校では二月五日、

式典、記念植樹に続き、清掃の奉仕作業を行いました。二年生九十人が園部コミユニティーセンター、東成井小学校周辺、羽鳥駅にわかれ、室内の清掃、屋外のゴミ拾いなど二時間ほど行ったものです。



米川実佐子(大塚21歳さん)
 最近習っているものは書道。休日は家でのんびりしています。理想の男性は賢い人。



■訂正 一月号の「平成4年度決算報告」、水道事業会計の説明で「固定資産や減価償却による資本的収支は」以下の部分を次のように訂正いたします。「建設改良費や企業債償還金による資本的収支2,578万円が、不足しました。不足分は過年度分損益勘定留保資金で補てんしました」
 また、「まちの話題できごと」

明日の農業を担う後継者表彰

町の優良農業後継者の表彰が一月十四日、役場議場で行われました。これは、町農政活動推進本部が毎年行っているもので、こととして十五回目、今回表彰を受けたのは、次の三名の皆さんです。

大岡栄子（中戸）施設園芸
白田和代（瓦谷）野菜
成田栄一（柴間）果樹

受賞者の皆さんは、厳しい農業事情のなか、それぞれ積極的に農業に取り組まれている方々で、これからの活躍が期待されます。

なお、来月号から、受賞者の皆さんの農業に取り組む横顔を紹介していきます。（写真前列左から白田さん、大岡さん、右端が成田さんです）



にぎやかに郡老人芸能大会

新治郡老人クラブ連合会大会が二月三日、中央公民館で開催されました。三日目をむかえるこの大会は、町村ごとに行っていた老人芸能発表会を郡全体で行おうと始まったもので、今年は八郷町が会場となりました。

この日は、郡内五町村から約二百七十名が一堂に集い、郡老人クラブ連合会長

土浦地方福祉事務所長らのあいさつのあと、歌や踊りなど四十種目を超える出し物が披露されました。この日のために練習された歌や、みごとに息のあった踊りなど出演者の熱演に、会場からは盛んな拍手が送られ、集まった皆さんは、楽しいひとときを過ごされました。



珠算競技大会で全国十位

そろばんの腕を競う、全日本通信珠算競技大会で、恋瀬小学校が小学校の部（団体）、全国十位の荣誉に輝きました。

この大会は社団法人全国珠算教育連盟が主催し、文部省が後援して行うもので、全国で約二万五千六百人が参加し、全国一斉に同時刻、同時間で競技するもの

す。昨年の十月に行われた茨城県大会では、恋瀬小学校が六年連続で、有明中が三年連続で優勝しています。

大会にはかなり難しい問題が出され、参加された皆さんは、毎日一〜二時間は欠かさずそろばんの練習をするとか。日頃のたゆまぬ努力が実を結びました。



で飯村花子さんの記録が「二十分四十九秒」となっていました。が、「一分二十秒四九」の誤りでした。おわびして訂正いたします。



今月の表紙は成人式。新成人の顔は皆一様に晴れがましく、希望にあふれている。私が成人式に出席したのは、もう十数年も前になるが、同じ顔をしていたのだろうか。今、取材をしていて感じるのだが、若い人の顔には、若さの持っているパワーとでもいうのだろうか、不思議な魅力がある。若さの特権であろう。もちろん、年を重ねた顔にはそれぞれの生き方や経験が刻まれ、とても味わいがあるものだ。こんな事を考えるのは、自分が年をとった証拠かもしれない。年をとるといえば二月三日は節分で、昔はこの日をさかひに年をとったもの。豆まきをした後、自分の年の数だけ豆を食べる習慣があるが、今ではその豆が食べきれない。少し悲しい。でもそれだけ丈夫で生きてこられたわけだから、喜ぶべきかも知れない。時間はだれにでも平等に過ぎていく。皆それぞれに今を生きていく顔になつて欲しい。

（武）

教育振興大会

さまざまに教育功労者表彰

第十六回教育振興大会（町教育委員会主催）が二月六日、中央公民館で開かれ、学校教育、社会教育関係者など約四百人が参加しました。同大会は二十一世紀にむけて、学校教育・社会教育・地域文化のバランスのとれた町教育の振興発展が目的です。第一部はオアシス作文等の表彰が行われ、第二部では大妻女子大学教授昌子武司氏による「子供の意欲を育てるには」と題しての記念講演がありました。



第2部の講演会では「子どもの学習意欲を育てるにはまずどうやって子どもの目を輝せるかである。それには子ども自身を認めてやること。ささいなことでもほめてあげることをおすすめしたい」など独自の教育論を展開。

第一部は、平成五年度優良教職員、第十六回教育論文入選者、学校教育功労者、PTA退職役員、社会教育功労者、オアシス作文入賞者、花と緑の環境美化コンクール入賞団体、平成五年度優良子ども会・優良指導者の表彰が行われ、該当者に賞状と記念品が贈られました。

その中の社会教育功労者には、社会教育委員の滝田宣弘さん（柿岡）、公民館運営審議委員会委員長の嶋田芳彦さん（柿岡）、体育指導委員の川井正紀さん（柿岡）、同じく駒村道広さん（小幡）と八郷町バレーボール部（倉田展郎会長）が選ばれました。

また、町が昭和五十二年から進めてきた「オアシス運動」の一環として毎年、作文募集をしてきました。内容は、うるおいある家庭、地域づくりの体験事例や意見などです。

今年度も小・中学生や一般のみならずから数多くの作品が寄せられました。厳正な審査の結果、次のかたがたが入賞・入選いたしました。

最優秀賞
電車の中で一つの決心
林小学校六年
本田 勝通

（小・中学生の部）

優秀賞

「おはよう」と「ヤンラー」
園部小学校五年 藤井まり恵
心に残る「ありがとう」
有明中学校二年 石井 知子

入賞

柿岡小学校二年 高橋由香里
東成井小学校三年 真原 里恵
瓦会小学校五年 稲巢 忍
恋瀬小学校五年 市村優美子
芦穂小学校五年 白井由香里
吉生小学校三年 岩淵 優太
小幡小学校五年 塩谷 絵美
小校小学校四年 原田 智也
朝日小学校四年 鈴木 美幸

（一般の部）

優秀賞

「おはよう」の一言で
大増 大沼 宏子

入賞

真家 長谷川雅吾

このほか、小学生の部学年優良賞六十六名、同佳作六十八名、中学生の部学年優良賞十二名、同佳作十二名にそれぞれ記念品が贈られました。なお、最優秀作品一編、優秀作品三編を八・九ページで紹介しています。

